



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2020

9

No. 774



はいっ チーズ!!おすまし...
浴衣着付け教室



吉敷地域コミュニティタクシー
実証運行協議会設立総会



すげー 動いた!!
ロボットプログラミング de YY

CONTENTS

インフォメーション..... 2

【トピックス●】
コミュニティタクシー実証運行
協議会が設立されました..... 3

こんにちは!食推です
カンタン健康レシピ①..... 3

【トピックス●】

吉敷地域ふれあいネットワーク
地域の宝である子供たちの見
守り..... 4

【シリーズ歴史●】

国勢調査でみる吉敷地域の
人口推移..... 5

レポート..... 6

【トピックス●】

皆さん、安全運転していますか?..... 7

リレーエッセイ..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,643(前月比 +9) 【世帯数】6,310(前月比 -2)

令和2年8月1日現在



インフォメーション

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

行事等中止・延期のお知らせ

- 市民体育大会（中止）
当初予定 9月13日（日）
 - 吉敷地区親睦ソフトボール大会（中止）
当初予定 7月19日（日）
「9月以降に延期」としていたが中止決定
 - えがお食堂（中止延長）
来年3月まで中止
 - ふれあい給食（中止延長）
9月は中止
 - 吉敷ふるさとまつり（未定）
予定 11月8日（日）
現在、協議中です。
- 開催の有無については10月号でお知らせします。

地域交流センター新刊図書案内

- ・えいせいえいせいえ
- （絵：佐藤可士和 字：谷川俊太郎）
- ・男の不作法
- （内館牧子）

育児相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。

とき 9月9日（水）13時30分～14時30分
（受付時間）

場所 地域交流センター 和室
申込 不要

準備 母子健康手帳
問い合わせ 子育て保健課
☎083-921-7085



子育て講座（食育）

新鮮なお魚をさばいてお子さんと一緒に食べてみませんか。講師の先生が丁寧に教えてくださいます。

とき 9月28日（月）10時～12時
場所 地域交流センター 調理室

講師 三和 慎吾氏（やまぐち）
BSR0328 オーナーシェフ

対象 未就園児と保護者 12組（先着順）
託児 有（要申込）

参加費 一組200円

準備 エプロン、三角巾、ふきん、マイ箸

申込締切 9月18日（金）
主催 母子保健推進員、つどいの広場
「案案案」

申込・問い合わせ 地域交流センター
☎083-922-3915



市有林松茸山の入札

次のとおり松茸山の入札を行います。

とき 9月29日（火）10時～

場所 吉敷地域交流センター 会議室
条件 吉敷地域在住で市税の滞納の無い方に限ります。

提出物 市税の滞納の無いことの証明書
※当日お持ちください。

入札保証金 当日は、入札金額の100分の5以上に相当する額をご用意ください。

問い合わせ 市農林政策課
☎083-934-2819

子ども会資源物回収

未来に向けて、限られた資源を大切に
するための資源物回収を行います。

とき 10月10日（土）10時～12時
場所 地域交流センター 駐車場

回収品目 紙類（新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック）、アルミ缶（スチール缶不可）、布製品（毛布、シーツ、古着類のみ）

問い合わせ 子ども会育成連絡協議会
村上竜司（緑ヶ丘）
☎090-2007-3201



人権啓発標語の募集

吉敷地域では、誰もが自分らしく、お互いに思いやりをもって明るく暮らせるふるさとづくりを目指しています。人権尊重の意識高揚を図るため、人権に関する標語を募集します。

テーマ 人への思いやり・優しさにあふれ、命の大切さを表現したもの

規定 文字数は20字以内。一人一点まで。応募標語は未発表で、他に応募していないものに限ります。

応募方法 応募標語、住所、氏名、年齢、連絡先を明記し、標語に込めた思いを添えて、地域交流センターまでお持ちください。（様式不問）

応募締切 11月30日（月）

発表・表彰 入選者の発表は「ふるさとだよりよしき」1月号で行う予定です。令和3年2月開催予定の吉敷地区人権学習推進大会において表彰します。

なお、優秀作品は、懸垂幕への掲示等の人権啓発活動に使用させていただきます。

主催・申込 人権学習推進協議会
☎083-922-3344



今年の懸垂幕と茂浦口さん



コミュニティタクシー実証運行 協議会が設立されました

7月27日(月)に吉敷地域交流センターにおいて、コミュニティタクシー実証運行協議会が設立されました。本年度、実証運行の運行計画(案)の作成が行われ、山口市公共交通委員会や山口市地域公共交通会議での協議を経て、運輸局への事業認可申請が行われることになっています。

実証運行とは

コミュニティタクシーは、運行経費の7割は市により補助されますが、3割は運賃収入などにより導入した地域が負担することになっています。このため、市において一年間の実証運行の制度が設けられており、その結果により、本格運行への移行を判断することになっています。

実施の方法

路線バスと同じように運行ルートや停留所、便数・時刻、運行日、運賃を定めて運行します。他の交通の妨げにならない道路は、自由乗降区間とすることが出来ます。運賃の額は、検討中ですが、福祉優待バス乗車証の適用があり、70歳以上の方は一乗車100円で乗車できます。

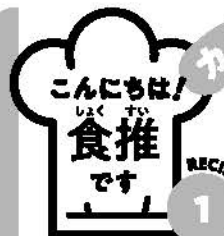
運行のルート

吉敷では、コミュニティタクシーをコミュニティバスの路線を補完するものとして導入したいと考えており、旧出張所・公民館跡地を発着点として、佐田、木崎、中村、上東、赤田を巡回する左回り右回りのルートを設定し、実証運行を行ってみたいと考えています。

吉敷地域コミュニティタクシー実証運行協議会役員

役職	氏名	摘要	役職	氏名	摘要
会長	田嶋基雄	総務・企画委員会委員長	理事	河崎信和	赤田町内会
副会長	木村克己	赤田町内会長	◆	村上博臣	佐田自治会
◆	浅田親文	佐田自治会長	◆	田中公吉	中村町内会
顧問	小田秀男	地域づくり協議会会長	◆	古山幸博	木崎町内会
事務局長	横山健二	総務・企画委員会委員	◆	斎藤昭司	上東自治会
理事	岡本幸幸	中村町内会長	監事	中村昌彦	総務・企画委員会委員
◆	内田信行	木崎町内会長	◆	上田泰司	総務・企画委員会委員
◆	守永修平	上東自治会長			

*総務・企画委員会は地域づくり協議会の組織



吉敷地区食生活改善推進員監修

健康レシピ

1「お月見団子」

今月から、「健康な毎日を過ごすために」のテーマで減塩レシピ、野菜が主役の簡単レシピ、行事食等を掲載します。

秋の夜空に浮かぶ美しい月を眺める「お月見(十五夜)」。今年の十五夜は10月1日(木)です。お月見は月に見立てたお団子や里芋、栗、枝豆など収穫された農作物をお供えし、豊作を祝うとともに月に収穫の感謝を表す行事です。

秋の風物詩とも言える十五夜にお月見団子を作って楽しんでみてはいかがでしょうか。



材料

【15個分(5串)】

- 白玉粉 130g
- 絹ごし豆腐 130g
- みたらしのタレ
- しょうゆ 大さじ2
- みりん 大さじ2
- 片栗粉 大さじ2
- 砂糖 大さじ4
- 水 150cc

作り方

- 1 白玉粉と絹ごし豆腐をよくこねる。(白玉粉のツブツブがなくなるまで)
- 2 耳たぶくらいのやわらかさになったら15個分に丸める。
- 3 沸騰したお湯にだんごを入れ茹でる。だんごが浮いてきてからさらに2〜3分くらい茹でる。
- 4 ざるにあげ、冷水または氷水で冷やす。
- 5 みたらしのタレの材料をすべて小鍋に入れ、絶えずかき混ぜながら弱火〜中火で加熱する。とろみがしっかりついたら完成。
- 6 水に濡らした竹串に3個ずつだんごを刺し、器によそったら、たっぷりタレをかけて召し上がれ〜♪

吉敷地域ふれあいネットワーク 地域の宝である子供たちの見守り

吉敷地域ふれあいネットワーク協議会では、地域が一体となり、子どもや高齢者の見守り活動などを通して、安心で安全な住みよい地域づくりを進めていくことを目標として、地域の見守り活動やふれあいあいさつ運動の推進、メール配信による情報発信などを行っています。この度は、多岐に渡る活動の中でも特に子ども見守り分野に注目し、その現状と意義について知っていただけたらと思います。

「子ども110番の家」とは

吉敷地域には、子どもたちの通学路を中心に、「子ども110番の家」のぼり旗を掲げて頂いている家が63軒あります。このぼり旗は、子どもたちの通学途上において何か異変（体調不良、不審者不安など）が起こった時の緊急避難場所を示すために市が作成しているもので、子ども達が安心して立ち寄れる場所の目印になります。



「110番の家」のぼり旗の目的

吉敷地域は山口市内の中でも人口増加地域であり、子育て世代の方の他地域からの転入も増えてきています。地域の地理的条件もあり、南西部に所在する幼稚園、小中学校への通学にかなり時間を要する園児、児童・生徒がいるのが実情です。そのような子どもたちへの安心安全な場所として、また不審者への犯罪抑止力効果として黄色い旗を目印に掲げています。

のぼり旗の設置にあたっては、一定の条件（通りに面しているなど）のもと、吉敷地区青少年健全育成協議会（青少年協）が地域の方々に協力をお願いしています。

吉敷地域ふれあいネットワークでは、地域内の多岐にわたる通学路において、危険個所の洗い出しや、のぼり旗間の距離や数についても精査を行い、青少年協と連携し、「子ども110番の家」の更新を進めていくことにしています。

会員が協力をお願いに訪れることもありますが、ご理解とご協力をお願いします。

気軽に見守りしませんか

地域ぐるみでの見守りの輪をより広げていくために、無理なく（負担にならない程度に）行える「ながら見守り」に気軽に参加してみませんか。

●庭の手入れなど家事をしながら

●近所を散歩しながら

●ベットの散歩をしながら

●仕事の合間の一服（休憩）をしながら、車の運転中・・・

など、何かをしながら見守り対象者を自然体で見守りができます。

また、この活動の相乗効果として

●気軽な挨拶の励行

●近所同士のコミュニティ促進

●家からの外出きつかけづくり

●地域内の環境衛生向上（ベットのフンなどの処理）

●犯罪の抑止力

●交通法規の遵守

などにつながる事が期待できます。

●気軽な挨拶の励行



吉敷幼稚園 地域に見守られながらの川遊び

地域づくりは声かけから

鴻南中・良城小・大蔵小の下校時刻予定表は、鴻南中学校区地域協育ネットが作成し全戸配布している「あいさつ&見守りカレンダー」に掲載しています。

日頃の生活の中で少しだけ意識して、子どもの見守りに参加してみませんか。



鴻南中 あいさつ運動



良城小 あいさつの日

国勢調査でみる吉敷地域の人口推移

国勢調査は5年毎、西暦末尾の0と5の付く年に実施され、大正9年(1920)の第一回調査以来、国の最も基本的な統計調査として、令和2年(2020)に100年の節目を迎えます。今回は、吉敷地域の人口の推移を見ていきます。

吉敷地域の人口については、享保13(1728)年の「地下上申」に吉木村・口数921人、中尾村・口数444人との記録が最も古く、次いで天保13(1842)年の「風土注進案」に記録が残っています。

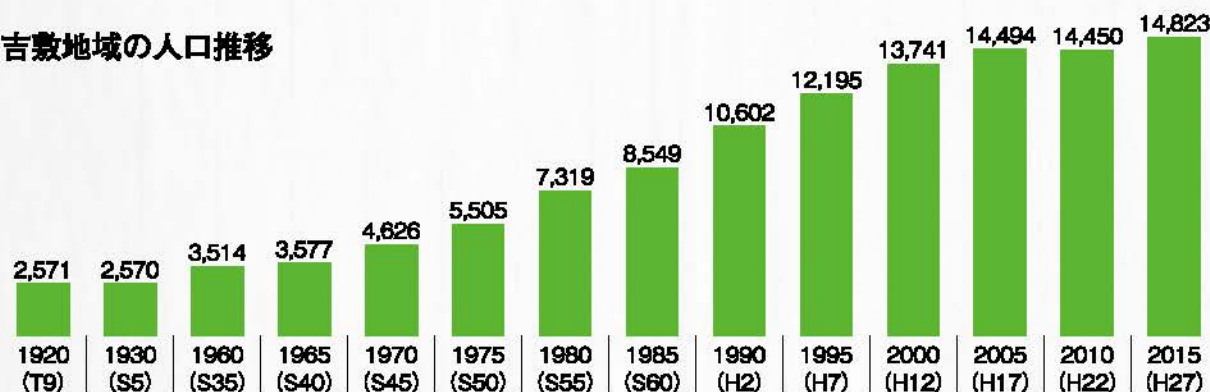
その後明治に入ってから数回、人口調査が行われていますが、本格的な全国一斉調査として数々の困難を克服し第一回国勢調査が実施されました。その時の吉敷村の人口は2571人と記録されています。昭和4年(1929)に山口町と吉敷村が合併し山口市となった翌年1930年の調査では2570人となっています。その後3千人台で推移していた人口は、昭和38年の国民体育大会を契機として、吉敷地域は山口市の住宅街として発展することとなりました。宅地造成が進み、人口増加

が顕著になります。昭和40年代には大橋や木崎、緑が丘、昭和50年代には稲葉に団地が誕生し、町内会が誕生します。続いて上東に伊槻団地が造成され、昭和60年代には、県公舎や、上東県営住宅が建設され、平成2年(1990)調査では10602人を数えるようになりまし。その後木崎県営住宅の完成や民間の宅地造成の計画が進み、前回2015年調査では14823人を数え、第1回調査からの人口は577%にもなります。山口市内21地域における増加率としても、平川地区の728%に次いで2番目に高い増加率となっています。

山口県は全国的にも高齢化が進んでおり、今後の対策は如何にあるべきかを検討する上でも国勢調査は益々重要性を増しています。私達自身の問題として、来る10月1日の調査では是非とも協力をしていきたいものです。

※「地下上申」では吉木村、「風土注進案」は吉敷村と記載されています。

吉敷地域の人口推移



「今年は国勢調査の年です」

期日：10月1日

回答期間：9月14日～10月7日

対象：令和2年10月1日現在、日本国内に住んでいるすべての人(外国人を含む)

回答方法：インターネット、郵送提出、調査員に提出のいずれかで回答

※調査の流れ
(1) 9月中旬
調査員(顔写真入りの調査員証を携行)が調査書類を配布します。
(2) 9月14日～10月7日
パソコンやスマートフォンからインターネット回答
・郵送提出または調査員に提出
※インターネット回答が便利

インターネット回答をした場合は、調査員による回収はなく、回答漏れや記入ミスの防止にもつながります。便利なインターネット回答を是非とも利用してください。



レポート

地域づくりキックオフ見つけ隊21

吉敷からはえがお食堂を紹介！

8月1日(土)山口市21地域の地域づくり協議会と関係者が集い、地域の取組や課題を共有するとともに地域間の交流を図ることを目的とした「地域づくりキックオフ見つけ隊21」に参加しました。



一生懸命描いたよ！

8月4日(火)、6日(木)の両日、地域交流センターでは、佐々木範子さんを講師に「こども絵画教室」が開催されました。資料を見ながらじっくり、想像を膨らませてカラフルに、絵具を散らして豪快に、など描き方は様々。それぞれ自由に画用紙を埋め尽くしました。完成した作品は大事に持ち帰りました。



ロボットを動かすぞー！

8月5日(水)、地域交流センターで「ロボットプログラミングde Y」が開催されました。プレスス(吉敷・維新公園)の豊野晃大さんを講師に、小学生を中心とした子ども達がロボットプログラミングに挑戦しました。

ロボットが障害物を避けながら目的のへ進むプログラムを作成。失敗と改善の後、ついにゴールに到着！



暑い夏も笑顔いっぱい もみじ学級工作教室

8月6日(木)放課後児童クラブもみじ学級では万華鏡づくりを楽しみました。筒には好きな絵柄を描いたり、千代紙を貼り、底にはきれいな色のモールやセロハン、おはじきなどを入れました。「見てー見てー」と模様の変化を見せ合い、笑顔の花がたくさん咲きました。



子ども会「水鉄砲バトル大会」開催！

8月10日(月)、良城小グラウンドにおいて子ども会主催の「水鉄砲バトル大会」が初めて開催されました。幼児も含めて65名の子ども達が参加しました。中高生9名のジュニアリーダーの進行で、個人戦、団体戦、水風船鬼ごっこの3種目を実施しました。みんなすぶぬれで笑顔一です。



皆でレノファを応援しよう☆

8月11日(火)、地域交流センターでは、レノファ山口を応援する「レノファちやうちん」を作る講座が開催されました。参加者は、「レノファカラー」のオレンジを中心にカラフルなオリジナルちやうちんを作りました。

完成したちやうちんは、維新みらいふスタジアムの試合で飾られました！



子どもの力で花いっぱい！

8月11日(火)、「吉敷地区子ども会花壇コンクール」の花壇審査が行われました。子ども会等が力を合わせて作った花壇も、花壇日誌も力作ぞろいでした。コロナ禍の中、どの団体も工夫して作業に取り組みました。

結果は上東子ども会が最優秀賞、佐畑子ども会が優秀賞に輝きました。おめでとうございます！



「アマビエ」で疫病退散！

8月13日(木)、田口潤さん(中尾西)を講師に「こども陶芸教室」が開催されました。作品テーマは、「疫病退散の妖怪」とも言われ今話題の「アマビエ」。本来なら、よしき夏まつりが開催されていたはずの日、新型コロナウイルス収束の願いを込めて作りました！





ドライバーの皆さん 安全運転していますか？

去る7月7日(火)夕刻、吉敷畑の国道435号でバスと乗用車が正面衝突し、乗用車の運転手が死亡する事故が発生しました。市内の他の地域でも死亡事故が発生しており、8日(水)からの7日間、市内全域に「交通死亡事故多発警報」が発令されました。吉敷地区交通安全・防犯対策協議会では、こうした痛ましい事故を防ぐ為に、吉敷を「交通事故0宣言」地区とし、日々啓発活動に取り組んでいます。

店舗入口の鉄柱の正体は？

岩崎チエーン山口吉敷店の入口に、腰の高さくらいの白い鉄柱棒が4本完成。なんと、車の誤操作などにより車が店舗に突っ込む事故に備えての安全策だそうです！

山口署によれば、現在、交通事故の多くがコンビニやスーパーの駐車場で起こっているとのこと。駐車場内も油断は禁物です。



横断歩道は歩行者優先！

良城小学校の児童たちが通学する時間帯、山口小郡バイパスの渋滞を避けて、上東交差点・ローソン吉敷佐畑店・木崎信号交差点を経由し「スクールゾーン」を迂回する自家用車を多く見受けられます。また、美東方面から山口市内方面に向かって国道435号線の渋滞が日常的にみられます。「スクールゾーンの中核」であるローソン吉敷佐畑店周辺は横断歩道も多く、交通事故を起こしやすい状況にあります。

横断歩道を横断する歩行者がいるとき、車は必ず一時停止をして歩行者に譲らなければなりません。横断者がいるかどうか明らかにできない場合でも、横断歩道手前で停止できるよう徐行しなければなりません。
今一度自分の運転を見直し、安全運転を心がけましょう。



リレーエッセイ

Relay Essay

004

はらだ みちこ
原田 美知子さん(上東)



息子が10年前から北海道札幌に居を構え、それからの10年間、結婚、孫の誕生、お宮参り、七五三等々の行事で北海道に行くことになりました。全回JRを利用です。実は私は大の飛行機嫌いなのです。

最初は、JRのフルムーンを利用。山口を朝の7時前に出発。札幌にはその日の午後11時過ぎに到着。その間約17時間。3回目からは夜行「北斗星」を利用。次の日の朝10時過ぎに到着。「北斗星」の個室は内装も豪華でお洒落でした。いつも上野駅の近くで食べ物と飲み物を買ひ、乗り込むと宴会の始まりです。楽しい思い出です。

ところが今から5年前、夜行列車が廃止となり、最後の頃は個室どころか普通寝台のキップもとりにくくなりました。次の年には、北海道新幹線が走るようになり、またこの頃からジbangを利用し、長く滞在するようになりました。

それにしても新幹線は早いというのか、北海道は広いというのか、東京から函館までが新幹線で約4時間。そこから札幌までが3時間半。

とにかく山口—札幌 約14時間。古希を越えた身には、いささか体にこたえます。

それでも飛行機には、やはり乗りたくない！



左が私。義姉と一緒に「北斗星」に乗車。





1火		
2水		
3木	●町内会長会 18:30~	
4金		
5土		
6日		
7月	●広報委員会 17:00~	
8火	●あいさつの日	
9水	●育児相談 13:30~14:30(受付時間) P.2 ●レノファ山口 VS 松本山雅FC 19:00~(みらスタ)	
10木		
11金		
12土		
13日	●楽楽楽「お父さんパワーアップ講座」 10:00~11:30	
14月	●ブックスタート体験会 ●吉敷ベタンク同好会練習 9:00~	
15火		
16水		
17木		
18金		

19土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30~12:00 ●レノファ山口 VS 東京ヴェルディ 19:00~(みらスタ)	
20日		
21祝	●敬老の日	
22祝	●秋分の日	
23水		
24木		
25金		
26土		
27日	●レノファ山口 VS ファジアーノ岡山 19:00~(みらスタ)	
28月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00~15:00 ●吉敷ベタンク同好会練習 9:00~ ●子育て講座(魚食) 10:00~12:00 P.2	
29火	●市有林 松茸山の入札 10:00~ P.2	
30水	●レノファ山口 VS ジュビロ磐田 19:00~(みらスタ)	

10月のおもなイベント

10土 子ども会資源物回収 P.2

22木 肺がん検診

「吉敷地区防災会の役員になって」

平成27年に発足した吉敷地区防災会。準備段階からこれまで献身的に活躍してこられた土肥本部長の後を受け継ぐことになりました。全く自信のない役員ですが、幸い大方の役員の留任が有り、この方々の御協力を得て何とか役割を果たしていきたいと考えています。

さて、今年も球磨川流域、最上川流域と各地で災害が相次いでおります。さらに、台風シーズンは今が真っ盛り。不気味な大規模地震発生予想報道もしばしば。この地域で災害が起こらないことを願うばかりです。

そして改めて本部長の重責を引き受けてみて思うのですが、私たちはお互い災害に対する備えの必要性は頭の中に意識としてはありますが、実際の準備は怠りがちです。非常持ち出しは？避難先は？等々。自分自身を振り返って反省しきりです。

自主防災会の役割はこのような知識だけの備えを行動につなげる意識付けをお互いで確認し合う場づくりが最も大切ではないか考えています。

古人いわく「災害は忘れた頃にやってくる」と。ならば、お互いで確認し合いながら忘れないでいよう。そして「やって来ないかも」と願いながら。

広報委員 下瀬清

[発行・編集]

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

